

6 本時のねらい 分数を分数でわる除法の意味や計算原理を数直線やマス図、分数×整数、分数÷整数、分数×整数、分数÷整数、分数×整数、分数÷整数を使って考える活動
 7 本時の展開 (7/15)

	学習活動	評価規準 (評価方法)	指導・援助
つかむ	<p>1. フラッシュカードによる復習 (分数の成り立ち、分数×整数、分数÷整数)</p> <p>2. 問題を読み、内容をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">□/□dmで2/5m²の板をぬれるペンキがあります。このペンキ1dmでは、何m²の板がぬれるでしょう。</div> <p>① 1/4 dmの時 $\frac{2}{5} \div \frac{1}{4} = \frac{2}{5} \times 4 = \frac{8}{5} \text{ m}^2$</p> <p>② 3/4 dmの時 $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4}$</p> <p>3. 課題を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">$\frac{2}{5} \div \frac{3}{4}$のような分数÷分数の答えの求め方を考えよう</div>	<p>○今までの計算 (真分数÷単位分数の計算) との違いに気づくことが出来る (挙手・発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> リズムよく短時間で復習する。 本時に関わらず復習をする。 前時までの復習で全員で出来るようにしておくが、場合によっては、マス図を示す。 真分数、単位分数の言葉が使えるように掲示に位置づけしておく。 数値を記入した数直線やマス図の補助プリントを用意しておく。 前時の学習で使った数直線やマス図を復習し、本時とのちがいを(3/4と1/4)にマス図の中で気づかせる。
みつける	<p>① 分数×整数や分数÷整数で考える。 ② マス図で考える。</p> $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4} = \left(\frac{2}{5} \times 4 \right) \div \left(\frac{3}{4} \times 4 \right)$ $= \frac{2 \times 4}{5} \div 3$ $= \frac{8}{5} \div 3 = \frac{8}{15} \text{ m}^2$ <p>③ 数直線で考える</p>	<p>○マス図や数直線を用いたり整数×分数や整数÷分数の計算と関連させて分数÷分数の計算の仕方を考える。 (個人追究の様子・ノートの記述 発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 算のきまりとして、わられる数とわる数に同じ数をかけても商の大きさは変わらないことを掲示に残しておく。 はやくできた人には、計算式がマス図や数直線とどのように結びついているか説明できるように指示する。
ふかめる	<p>4. それぞれの考え方を交流して、まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">分数÷分数は、数直線やマス図や式変形で答えが出せる。</div>	<p>○分数÷分数の答えを求めることが出来る。 (ノートの記述、発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交流の時は、それぞれの考えがどうつながるかを意識させて聞くようにさせる。
まとめる	<p>5. 自分のやり方や友達のをり方を隣の人に説明する。</p>		